

平成30年度 通常総会開催

平成30年8月26日(日)

アートホテル大阪ベイタワー

事業報告・決算報告・収支差額金処分案承認される



No. 337

発行所

公益 全国珠算教育連盟

社団法人 大阪府支部

http://www.web-g.jp/osaka88/

E-mail osaka88@web-g.jp

〒552-0001

大阪市港区波除2-8-14

TEL 06-6583-6222

発行者 櫻井行雄

編集者 上村亘

印刷 広報部



- 平成30年8月26日(日)午前10時から、アートホテル大阪ベイタワーにおいて、平成30年度通常総会が開催された。開会の前に、櫻井支部長の挨拶で、6月の大阪北部地震、7月の集中豪雨等で被害に遭われた会員・家族にお見舞いの言葉を述べ、これから台風の季節になるので、大雨・暴風等に留意して頂きたいと話した。また「本日は平成29年度事業報告・収支決算報告と収支差額金処分案承認であるので、会員の先生方から数多くの意見や質疑を求め、30年度・そして今後の支部運営に活用していきたい」と挨拶した。
- 2名の新入会員紹介の後、本部・支部・近畿ブロック・近畿連合の状況報告において、櫻井支部長が次のように語った。
- 12月22日から24日まで行われる人材育成講習会に、大垣真一朗氏・久手堅大成の2名が参加。
- 珠算研究集会は、来年に青森県、再来年は兵庫県で開催(青森県では4地区の大垣憲造氏が研究発表をします)
- 8月8日に京都国際会館において全日本珠算選手権大会が行なわれた。
- 大阪府支部事務所の1階・2階に新しい空調設備を整えた。
- 4月29日・30日に支部研修旅行を実施(三井寺にて大津そろばん祭り見学)
- 来年の優秀生徒表彰式典は、3月17日に中央公会堂で開催。
- 5月20日に近畿そろばん連合創立20周年記念式典開催。
- 11月3日(祝)にアートホテル大阪ベイタワーに於いて、支部創立65周年記念式典を開催(式典では永年在籍表彰・検定事業優績表彰等が行われます)式典は午後3時、祝賀会は午後5時に開催。等の話があった。
- 総会成立宣言は、現在会員107名、出席者61名・委任状40名で成立宣言が行なわれ、齋藤京子副支部長を議長として、議長団(副議長・浦美知代氏、岡野秋喜氏、書記・森内文三氏、議事録署名人・稲田ルリ子氏、元木健二氏)が選出され議題審議に入った。
- 平成29年度事業報告・収支決算報告と収支差額金処分案承認の件は、会員の拍手をもって承認された。執行部報告においては、広報部からは毎年、天満宮で開催されているはじき初め協賛のお願いがあり、検定部からは検定受験者数が減少傾向にあるので、受験者数増加に協力を求めた。競技部からは全日本珠算選手権大会の報告があり、100位でも1335点という高得点であり、選手のレベルが年々上がっているとの報告があった。総務部からは、支部65周年記念式典における実行委員(上村氏・湊氏・新名氏・山口氏)の紹介があった。
- 通常総会は午前11時40分に、無事終了した。

久手堅大成

平成30年度本部珠算指導者講習会
演題「そろばんの先生にできること」
〈生徒・保護者〉

青市 昌司 茂子氏
地域社会に向けて

平成30年8月26日(日)アートホテル大阪ベイタワーに於いて、13時から本部珠算指導者講習会が開催された。講師を務めたのは奈良県支部の島岡成紀支部長で、「そろばんの先生にできること」と題して約4時間の講演を行った。他府県からもたくさんの方の参加者(19名)があり会場は80人以上の先生方で埋めつくされ、講演に対する期待度が伝わってきた。



島岡氏の今回の講演は、大手フランチャイズの珠算教室の参入で

競争が激化している珠算界をいかにして勝ち抜いていくのか。(珠算塾の生徒の減少を、少子化や習い事の多様化などを理由に挙げているのは間違いであると思われ、指摘している)そろばんを取り巻く環境は大きく変化し、今は子供に習わせたい習い事ランキングでも5位以内(ケイコとマナブ、Net)に入っている事を紹介。まさに、そろばんブームの再来となっていると語った。大手フランチャイズや勉強塾のそろばん指導の進出はその証であると話し、それに対抗するため、いかにして指導、塾運営していくのかを具体的に講演していただいた。(ソロバンブームを迎えている今こそ、手を打っていかねばならないと警鐘を鳴らしている。)

講演のポイントを列挙してみる。

- ①保護者に「ここまでうちの子どもを見てくれているのか」という一人ひとり合わせたカリキュラムと具体的な指導が個人教室の最大の武器。
 - ②市販の指導書には、プラス工夫を加える。
 - ③保護者とのコミュニケーションを大切にしておく。
 - ④授業時間よりも準備時間が大切(準備を入念に行う)。
- 等の話を、楽しく語っていただいた。

広報部

講習会を受講して

5地区 井村里絵子

総会終了後、大阪府支部主催の本部指導者講習会が開催されました。

今回の講習会を受講して、私は、目から鱗の落ちる音が聞こえました。

人生の大方をそろばん教育に捧げ、しかもまだ、五十代はじめの

島岡先生が発する言葉の説得力あること半端じゃありません。ぐいぐいと話に引き込まれていききました。

ひとりひとり個別の手作り教材やネットの活用、そして体験教室の工夫・・・頭では分かっている、なかなか踏み出せない自分を省みて、今こそやらないと強くなりました。

ただこの講演の肝は、単なる珠算指導のノウハウではないと思えます。そろばんの先生自身の生き甲斐に繋がる個性を活かした教室、顔の見える教室作りの妙ではないでしょうか。

さらに生徒の喜ぶ顔の向こうには、いつも車で送迎している保護者たちの笑顔も見えます。もう一つのポイントは、おそらく其々の教室の置かれた地域の個性を深く捉え根ざした経営戦略でしょう。田原本という歴史ある地域で、島岡先生の実績の上に日々、熱心にそろばん教育に携わっている先生のお姿が見え

てまいります。とても感心いたしました。

ちなみに、私の教室が立地する堺の旧市街地は、「ものの始まり何でも堺」と謳われた自由都市の歴史文化が息づく地域です。この地域の良さに根ざし、手作りのそろばん教室をもう一度、考え直したいと思いました。

以上、大手のチェーン展開のそろばん教室では、絶対に不可能な手作りの「顔の見えるそろばん学校」の可能性を確信させてくれた有益な講演でした。

女子会開催

平成30年7月1日(日)支部事務所2階で、11時から15時まで昼食をはさんで開催された。

今回は21名の参加があり、春の新入生の入学状況や現況等の話し、チラシの活用法など生徒増加を見据えた会話が活発に行われた。特に、茶話会のような

形式で多くの保護者と時間を共有すると、お互いの連帯感が深まる等、保護者との距離を縮める事が大切であるとの意見が多く聞かれた。

田中三智子



10月検定試験のお知らせ

(珠算4～15級・暗算1～10級)

申込み締切 10月10日(水)・午前10時迄

結果報告締切 10月29日(月)・午前10時迄

- *期日は厳守してください。
- *受験者増加をお願いします。

平成30年度
全日本珠算選手権大会開催



平成30年8月8日(水)午前9時から京都国際会館において、全日本珠算選手権大会が開催された。今年は7歳(小学2年)から68歳までの精鋭682名が全国から集い、日夜磨き上げてきた技を競い合った。

平上一孝理事長は、

挨拶の中で「本日の競技会で好成績を得るには、心・技・体が強く求められる。誰にも負けない精神力、体力、知力が不可欠である。昨年は満点が9名、今年はどうなドラマが待ち受けているのか期待が高まります」と話し選手を激励した。

今回は韓国からも招待選手4名が参加し紹介された。

来賓紹介後、細川結愛選手(小4・道志)の堂々とした選手宣言が行われ、早速フラッシュ暗算競技が行われた。

今回、ギネス記録1.68秒の更新がなるかで注目されていた。1問目3桁15口4秒から入った決勝問題は次第に時間を短縮していき

1.69秒で杵川日向雅選手がハイレベルな戦いを制して優勝し、ギネス記録への挑戦権を得た。杵川選手は1.66秒に挑戦し、答えを大きな声で答えると見事正解。会場からは大きな歓声と拍手が起こり、ギネス記録が更新された。

総合競技は満点が何名でなのか、そして土屋選手が連覇をするのか注目された。結果が発表されると今年も6名の満点者が出て、舞台上に席を移し同点決勝が行なわれた。会場内は真剣勝負の様相を見せ、息をするのも苦しく感じる。その重圧の中で決勝を制したのは、竹澤祥加選手(千葉県)である。まさしく技・精神力の頂点に立つ人間である。竹澤選手は、大会まで苦しい事がいっぱいあったが優勝できてうれしいと素直に感想を述べた。昼からは読上暗算が行われ、2問目(5、16桁加算)に正答を出した竹澤祥加選手が連覇して2冠(総合・読上

暗算)を達成した。読上算競技においては2問目(7、16桁加算)に2名が正答を出し、今年優勝が早く決まるかなと思ったが、そこから他の選手が先に答えを合わせ、7位まで決まったものの優勝が決まらず、十数問以上読んだ後、やっと青野彩夏選手(神奈川県)の優勝が決まった。読上算競技の連覇の難しさを垣間見る思いがした。

都道府県対抗競技では、大阪府は優勝を期待されたが、準決勝で沖繩県に惜しくも敗れ決勝に進むことができなかった。決勝でも沖繩県は底力を見せつけ、昨年の覇者青森県をねじ伏せて優勝した。来年度こそはぜひ優勝旗を大阪に持ち帰ってほしいと思う。

珠算選手権大会は午後4時50分に閉会した。次回も京都国際会館で開催される。

上村

(大阪府参加選手の主な成績)

総合競技
小学生2位 江口尊琉
ベスト12位 大内峻聖
一四三五点
一四八五点



都道府県対抗競技参加選手

平成30年度
全日本通信珠算競技大会大阪府大会
開催日 平成30年10月14日(日)10時開会
終了は15時を予定しています
会場 大阪商業大学
(詳細は、競技部より連絡があります。)

生徒作品募集

珠算学習者のみなさんから体験を通して作品、また夢を託した作品を募集します。

「テーマ」

「そろばん」

*未発表のものに限る

◎応募作品

①作文の部

(四百字詰め原稿用紙3枚以内)

②ポスターの部

画用紙(絵具画 クレパス画)その他規定はありません)

◎応募資格

全珠連大阪府支部会員 教場の生徒に限る。

◎入賞数

入賞者には、部門別に賞品を贈呈します。

最優秀賞 一名

優秀賞 若干名

審査員特別賞 若干名

◎応募締切

平成30年10月31日

(当日消印有効)

◎応募方法

作品に応募券を添え、会員教場取りまとめの上、下記まで郵送してください。

〒552-0001 大阪市港区波除 2の8の14

(公社) 全珠連大阪府支部 「生徒作品係」

◎発表

研修部で審査の結果、会員教場の先生宛へ郵送をもって発表、『全珠連おおさか』に一部掲載予定。なお応募作品は返却いたしません。入賞作品は、珠算PR活動に一部使わせていただきますので、著作権は、大阪府支部に帰属するものとします。

近畿珠算

強化連合会

5地区 岡野秋喜

5月20日(日)アー

トホテル大阪ベイタワーにおいて総会及び研修会が、近畿一円の珠算教育者及び関係者が一堂に会して、珠算の復興と強化発展を願い盛大に開催されました。

櫻井行雄氏(全珠連)が司会を務める中、岡田良章代表(学連)の挨拶があり、設立20周

年に当たり、さらなる珠算強化を目指して、頑張っていきたいと力強く述べられた。

次に来賓紹介、創立20周年記念功労者の表彰が行われた。

続いて議事に入り、1号議案、2号議案いずれも提案通りに承認された。

総会終了後は研修会が行われ、「長い、長い、数の旅」と題して、三重大学名誉教授の上垣渉先生の講演がありました。かず、スウ(数)とは、宇宙を構成する素数の源であり、長い、長い歴史の中で数について、人類がどのようなにかかわってきたのか数えることから、標識化、言語化へ。標識から記号へと進む数字の誕生への変遷を解説したご講話は大変勉強になりました。

終了後には懇親会が行われ、相撲甚句が披露されました。賑やかに宴席が進み、相互の親睦と交流を深め、珠算の発展を願い閉会となりました。

新入会員紹介

第4地区

佐藤 千洋



昭和46年9月3日生 教場名 藤田珠算塾 現住所 豊中市庄内西町 二丁目十五番八号

第2地区 山地 良子



昭和55年7月20日生 教場名 ハタノそろばん 現住所 大阪市城東区関目 二丁目十番八号

諸会議行事報告

女子会

日程 平成30年7月1日 場所 支部事務所 出席者数 21名

1. 生徒募集の方法
2. 保護者との連携
7. その他
6. 各執行部報告

創立65周年祝賀会

実行委員会

日程

平成30年8月28日

場所 支部会議室

出席者数 4名

1. 祝賀会の内容及びアルバムの作成について

常任委員会

日程

平成30年7月29日

場所 支部会議室

出席者数 15名

1. 常任委員変更について (議題1)

(議題2)

1. 本部・支部・近畿ブロック・近畿連合・大阪連合状況報告

2. 平成29年度事業報告・収支決算報告及び収支差額金処分案承認の件

3. 全日本通信珠算競技大会について

4. 総会・講習会の件

5. 支部創立65周年記念式典・祝賀会について

行事予定

10月7日

近畿ブロック事務職員研修会

10月8日

全日本通信珠算競技大会

10月14日

珠算競技大会

10月28日

偶数月 検定試験

11月3日

常任委員会・支部創立65周年記念式典 祝賀会

11月25日

第388回 検定試験

お知らせ

年賀はがき(ダブル抽選付き)

代金 10枚単位で620円 申込締切 平成30年10月18日